



平成29年度  
第3回北区まちづくり懇話会  
意見交換会（WS）



平成29年10月25日

## 平成29年度 第3回北区まちづくり懇話会

日 時 平成29年10月25日（水）  
14時00分～15時40分

場 所 北区役所2階第1、2会議室

出席者 懇話会委員15名  
《ワークショップ参加者》  
地域担当職員4名  
大学生4名

内 容 ・意見交換会（ワークショップ）  
《分 野》  
1班：防犯・防災、地域づくり  
2班：健康、福祉、文化、スポーツ  
3班：経済・農業、賑わいづくり  
4班：環境・景観、都市づくり

## ■ 会長挨拶

今日は分科会に分かれて、話し合いをしていただきます。同じ北区の身内同士ですので、遠慮なく、なんでも話してください。

4班に分かれていますが、他の分野を議論してはいけないという訳ではございませんので、全てに共通する課題は柔軟に話をしていただきたい。

## ■ ワークショップ

### 1班：防犯・防災、地域づくり

#### 【描きたい姿】

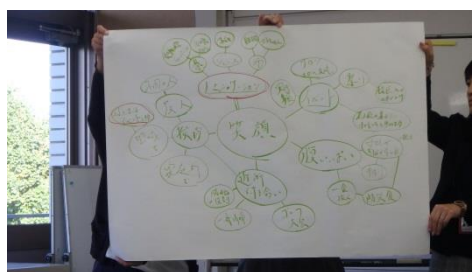
「笑顔」

#### 【実現するためのキーワード】

小さなイベントをする、飲みニケーション

#### 【意見】

- ・身近なところで小さなコミュニティを作り、小さいイベントを開催しながら関係を深めていく中で、段々広げていく。
- ・同じ場にいること、その場を共有すること、そこで和気藹々することが、結果的につながりになるので、その様な場はすごく重要。
- ・テーマ「笑顔」としただけで、すごい和気藹々と笑いの絶えないワークになったので、「笑顔」という言葉はすごく大事。



## 2班：健康、福祉、文化、スポーツ

### 【描きたい姿】

「健康・長寿」 ～生まれてから死ぬまで～

### 【実現するためのキーワード】

交流型イベント、予防・発見

### 【意見】

- ・現在実施されている運動会、グランドゴルフやウォークラリーをさらに輪を広げていく。
- ・車椅子の方など障害者の方が運動できる場所が少ない。
- ・食事は子供から高齢者まで関わるので、地域の料理自慢の方や食生活改善推進員の活用した食育を行う。また、子供食堂は小規模で行われているが、どんどん広げていってほしい。
- ・高齢者は認知症というのがキーワード。認知症サポーター養成講座の開催はどんどん進めてほしい。
- ・若い世代にも骨密度や血糖検査などやっていただきたい。
- ・小さい子の母親のケアが必要なので、子供の健診を受けている間に母親の健診の受診や子育ての情報交換を行う。



## 3班：経済・農業、賑わいづくり

### 【描きたい姿】

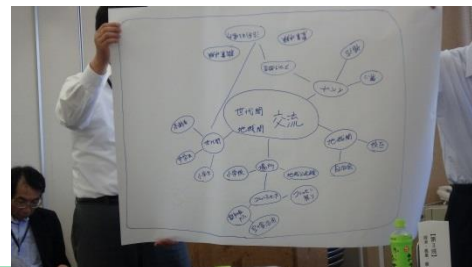
「世代間・地域間交流」

### 【実現するためのキーワード】

スマホ、情報を共有・活用する場所

### 【意見】

- ・コミセンの活用やいろいろなイベントの開催も必要だが、人を呼び込むだけが交流ではない。
- ・今はネットワーク上で情報を共有することで交流にもつながる。
- ・子供たちもスマホを持っているので、スマホなどを活用した情報を共有・活用する場所が必要。（子供たちが撮影した地域の写真を共有して、高齢者の方がそれを見て交流につなげる）



## 4班：環境・景観、都市づくり

### 【描きたい姿】

「住みたい つながる 美しいまち」

### 【実現するためのキーワード】

人口、交通

### 【意見】

- ・ 住みやすくする施策を実現するには、まずは人。若い世代が増えて、北区で子育てをしてもらい、人口を減らさないようにして、地域のリーダーシップをとれるような人材を育成する必要がある。
- ・ 若い方たちを呼び込むため、イベント等ではSNSを使ったアピールをする。
- ・ 子育てしやすい環境には支援が必要。子育ての知識がある高齢者を活用する。
- ・ レジャー施設が少ないので誘致をする。例えばコストコを植木に誘致するなど。
- ・ 車の運転ができない高齢者のために、スクールバスなどの空き時間を活用してシャトルバスを運行する。



## ■ 会長講評

地域づくりや地域福祉等に関する行政の考え方が、地域とのつながりを一人一人が持ってもらうという考え方に変わってきている。今日のワークショップの報告では、まさにそういう方向で話し合いがされていたので、非常に的を得た報告だった。

地域づくりには、これをやったら一気に地域が活性化するという特効薬はない。小さな行動や小さなアイデアを続けていくことによって、少しずつ成果が出てくる地味な努力が必要。そういう努力を続けていった地域は、必ず成果が出るということは間違いありません。この懇話会もあと1年少々ありますので、今日のように皆さんとアイデアを出しながら、地道な努力を続けていきたい。